

第6回新湊みなとまちづくり戦略会議議事録

日時：平成19年2月22日（木）

午後2時～午後3時45分

場所：市役所新湊庁舎別館302号室

事務局：ちょっと早いですが、始めさせていただきます。ただいまから、第6回新湊みなとまちづくり戦略会議を開催いたします。

事務局：～アドバイザー、委員、随員職員、委員の紹介～

事務局：それでは、事務局を代表いたしまして、産業経済部長がごあいさつを申し上げます。

部長：皆さん、今日はお忙しいところありがとうございます。特にアドバイザーとして、伏木富山港湾事務所と県港湾空港課の方々、どうもありがとうございます。私は昨年9月に産業経済部にまいりまして、このような形で皆様方とこうして同席するのは、初めてかと思います。私が来た後は視察がありましたが、私の都合で欠席だったということ、それから、先日は県のほうに出向かせていただきました。初めてということで、皆さんよろしく願います。戦略会議の皆様方には、市政をはじめ、特にみなとまちづくり方策の提案等々にあたりまして、いろいろとご指導、ご提案、ご支援いただきまして、誠にありがとうございます。ご承知のとおり、射水市の新湊地区では、みなとまちづくりが最大の関心事となっておりまして、現在、国交省で建設中の仮称新湊大橋の整備につきましても、非常に関心が高く、私どもは最重点事項として取り組まさせていただいています。それにあわせまして、みなとまちづくり方策として、17年度以前からそれぞれの形が出来上がっています。それらを具現化するために、一つ一つ、一步一步、私どもも一生懸命やっておりますし、皆様方のお知恵、ご提案、その他のご協力をお願いしております。

昨日、市長から19年度予算を記者会見という形で、公にされました。今日の新聞にもその概要が載っておりますが、その中にも万葉線を含むみなとまちづくりのことについても、見出しを付けて載っております。皆様方ご承知かと思いますが、まちづくり方策を具現化する、今後とも皆様方には、仮称新湊大橋がそれに伴いまして周辺環境、また、みなとまちづくりとして必要なこと一つ一つにつきましても、いろいろご提案をいただき、共に考え、共に一步一步ま

ちづくりのために進めていきたいと思っておりますので、今後とも重ねてご支援ご協力をいただきますことをお願いいたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

なお、この戦略会議につきましては、私どもといたしましては、19年度も続けていきたいと考えております。皆様方には、またご足労をおかけすることになるかと思いますが、その節にはよろしく願いしますということを重ねてお願い申し上げまして、一言ごあいさつとさせていただきます。皆様よろしく願います。

事務局：ここで青年会議所の理事長さんが交代されましたので、一言ごあいさつをいただきたいと思います。

委員：皆さん、こんにちは。今年度、射水青年会議所の理事長を勤めさせていただいております。今回、新湊みなとまちづくり戦略会議に出席させていただいて、初めてのことで分からないことばかりですが、いろんなことを皆様方と勉強させていただきまして、いろいろな提案・提言ができるように、青年会議所としてできることをやっていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。

事務局：ありがとうございます。それでは、早速議事に移りたいと思います。委員長よろしく願います。

委員長：本日もよろしくお願いいたします。12月に近畿大学水産研究所に行きました。年中、横を通っていて、分かっているようで分かっている知識は10年前のものだということを、改めて感じました。そういうことで、ここに住んでいればいるほど新しい情報を売るために、ああいった形で海あるいは港との関係で一生懸命やっている方のお話を聞いて、ここで反映することもいいんじゃないかと思えます。

それから、この会議はいつも言っていますように、単に話し合っ行政の方に、はいこうでしたという審議会では、私はそういう形だけのものにしたくない。せつかくここにお忙しい中お集まりいただいたわけですから、意見をどんどん出していただきたいと思います。会議が終わっても、年中考えていただきたいと思えます。要するに東と西の埋立地をもっと賑やかにするにはどうしたらいいのかと、それと旧市街地とのつながりの中で活発にするにはどうしたらいいのかということを、1年中考えていただきたいと思います。というわけです。

その上で、戦略会議ですからこういった形で実行していくかということを、いろいろなところに呼びかける、ここに来られている委員の方は、組織を代表されている方もおられるし、私自身もそうですが、組織から離れた個人として一人で参加しているということもありますが、それぞれここで出たものを、砂上の楼閣にしないで、一步一步実現するにはどうしたらいいかということも踏まえて、お願いしたいと思います。

その際、いつも念頭に置いていただきたいプランは、まちづくり方策の小冊子であります。ぜひここに来られるときは、分かっているようであっても常にひっくり返して、念頭に置いていただきたいと思います。海をどのようにこのまちに生かしていくかという、海と船と人との関係です。それから、その間に重要な港があり、この港に戦後の昭和30年ごろから今日まで、国も県も相当力を入れて、港にかかわる資産が相当つぎ込まれています。これをここに住んでいる人たちがどういうように利用していくかということでもありますので、活発な議論をお願いしたいと思います。

今日の議論におきまして、事務局と私のほうですり合わせたプランというか議事がそこに書いてあります。そんな感じで進めていきたいと思います。おおよその終わる目途は4時ということにしておきたいと思います。今日もよろしくをお願いします。

それでは、この前の会議でもずっと出ていて、いよいよ具体化をしていきたいということでもあります。1番の案内板の設置調査を戦略会議の元でワーキンググループを作って、進めたいと。こういう形で進めたいのだから、いかがでしょうということ、皆さんのご意見を伺いたいということで、提案をさせていただきます。それでは、これについて説明をお願いします。

事務局：それではまずお配りしました資料の確認を先にさせていただきます。まずレジュメがありまして、資料1が1枚、資料2が両面で2枚、資料3が両面で1枚となっております。それと、先日県民会館のほうで伏木富山港湾事務所さんと意見交換会をさせていただいた時の会議録をお配りしてございます。会議録は原則ホームページで公開というのは、戦略会議のみでございまして、こちらのほうは公開する予定はございません。出席者の方で内容の確認をしていただきまして、訂正部分がございましたら、私のほうまでご連絡いただければと思います。それと、委員長、新湊大橋の自転車歩行者専用道の提案書が両面で1枚、そして、本日の北日本新聞のコピーが1枚、それと、先ほど国土交通省伏木富山港湾事務所さんがお配りになられたシンポジウムの案内が1枚でございます。委員長の提案のほうは、後ほどご説明いただくということで、

あと北日本新聞の万葉線の延伸調査については、事務局のほうから簡単に説明させていただきます。

それでは、早速、資料1のご説明をさせていただきます。新湊みなとまちづくり戦略会議、仮称ワーキング会議の設置についてでございます。目的は前からも言っておりますように、海王丸パークを訪れる観光客、来場者をいかに新湊地区中心市街地に誘導し、中心市街地を活性化させるかということで、そういった人の流れを作る案内看板の設置箇所について、調査・検討をさせていただく会議でございます。それで、市全体のサイン計画もありますが、そういったモデルになればいいかと考えております。これは、あくまでも私どもの案でございます、順にご説明をさせていただきたいと思っております。ワーキング会議は約20名ほどで組織したいと考えております。それで、今来ていらっしゃる委員の方のご紹介という形、委員の組織の中から人選をしていただいて、こちらの方に推薦していただくという形をとりたいと考えております。あくまでも、今の段階での内訳の案でございます。まず、射水商工会議所のほうで2名、青年会議所さんのほうで2名、自治会連合会のほうで2名、市民国際交流協会のほうで2名、商店連合会のほうで2名、商工会議所女性会のほうで2名、学生等で2名、それとその他団体等と書いてありますが、福祉関係の団体で2名程度考えられないかと思っております。そして、戦略会議委員の中から2名、それと、公募という形で広報4月号で公募してはどうかと思ひまして、4月号に原稿を載せる用意をさせていただきます。こちらでよろしければ、広報4月号で公募したいと考えております。それで、ワーキング会議の全体のスケジュールでございますが、設置箇所の検討は今年の4月から6月ごろ、2か月ほどをかけてやりたいと考えております。報告書の提出については、8月を考えております。その8月を目途に会議を開催していきたいと考えておりますが、これはあくまで予定でございます、早ければ早いほどよろしいかと考えております。設置箇所の検討以後、看板のデザイン案でありますとか、表記の検討、こちらについては、国際交流協会に依頼していきたいと考えております。それで、ワーキング会議のスケジュールでございますが、4月下旬までに各種団体から委員を推薦していただきたいと思ひます。こちらの推薦の依頼状は今日の会議が終わりまして、これでよろしければ、皆様の団体の長様あてに、推薦の依頼状をお出ししたいと思っております。5月中旬ぐらいに推薦いただいた委員の方々に集まっていただいて、委嘱、事業概要の説明、現地視察等々をやりたいと思っております。5月中旬は日曜日の開催ということで、5月13日、20日、27日のいずれかの日で考えております。場所は海王丸パークの日本海交流センターのほうで開催していきたいと考えております。第2回目以降は、

6月以降随時という形で、報告書の作成ということで、こういったところに誘導看板の設置がよろしいかということを検討して、報告書の作成を行っていきたいと考えております。戦略会議との関係になるんですが、設置箇所の設定といったものはワーキング会議のほうでしていただく。それを戦略会議に一度上げていただいて、戦略会議の中で検討していただいて、それに基づく修正をワーキング会議で行う。報告書の作成はワーキング会議が行い、戦略会議へ報告し、その旨事業主体、今回の場合は都市計画課になりますが、そちらのほうに提案していきたいと考えております。なお、戦略会議の委員の皆さんに関しましては、2名のワーキング会議の委員として出ていただく他の委員様方に関しましては、時間があればぜひ傍聴等、会議に見学という形になりますが、出ていただきたいと思っております。資料1の説明は以上でございます。

委員長：どうもありがとうございました。ということなんですが、いよいよ始めたいということで、いかがでしょうか。これは今までの会議でも看板の必要性、あるいは日中韓露の環日本海にふさわしい言葉でというのも出ておりました。こういう状態で各箇所からふさわしい人、議論だけではなく、実行部隊になりますので。この内訳のところ、2名と書いてありますが、戦略会議のほうも2名と書いてあります。今後、どういう具合で、ここの具体化組織をやっていくかということも一つ考えなくてはいけない。この一応の考えは、この戦略会議でなんでもかんでもできるわけではないので、ふさわしい部会でどんどん進めていく、かといってお任せをしちゃうとこれはどう飛んでいくか分かりませんので、ここで今までの議論が分かっている人も入って、同じように参加をしていく。傍聴もして、できるだけもり立てて行くということでどうかと。基本的には、誰かがやってくれると、みなとまちづくり班で全部やってくれるんだということではなく、やるんだという形、この戦略会議との関係でうまくいければという期待があります。ですから、ここの委員も、それでは参加しましょうと、こちらから強引に割り当てるのも一つの手なんですが、できたらこの分野はやらせてくれということがあれば、一番いいです。

委員：表記で4か国語ということになっていますが、事務局に質問ですが、これは市民国際交流協会ということなんですか。

事務局：ぜひとも、そういった形で協力願えないかと考えております。

委員：できましたら、私ども学校のほうでですね、英語は国際交流協会によ

ろしいかと思いますが、せっかく韓国語、ロシア語を勉強しておりますし、この前もロシア船が一時北埠頭に入ってくるということで、ロシア語に訳したということで、非常に学生たちが授業の中でいきいきとしてやっているんです。かつ、新湊のまちに興味を持ったということもありますので、できましたら、3か国語につきましては学校を主体にやらせていただければと思っておるんですが。

事務局：国際交流協会のほうと話をさせていただいて、言語で分けるような形で話をさせていただいてよろしいでしょうか。

委員長：これは基本的に次のパンフレット作成であるとか、今までも出ているでしょう。当然関わるべきですが、一つに集中しちゃうと。広がりというものもありますし。ですから、それはそういう方向で。広がるのが一番いいわけですから。

委員：この戦略会議の関連で、教材として扱うといろんな形になるんですね。例えばパンフレットなんか、教科書とはちがい食いつきがいいんです。ほかの自治体の港なんかを参考にしているので、私自身、積極的に参加させていただければと思っています。ぜひ、よろしくお願いします。

委員：これは観光コースもこの中に入るのですか。あくまで、案内看板だけですか。つまり、何を言いたいかといいますと、観光協会あたりにワーキンググループに入っていただくというのは難しいのですか。可能性はありますか。20名にこだわられることもないような気もするので。

事務局：その他の団体等に2名と書いてありますが、この場で話し合っただけで、委員の皆さんから、そうした意見が強いということであれば、こちらのほうから観光協会にお願いにいきたいと思えますし、そういった意見をいただければと思います。

委員長：他にこういうところというのはございませんか。

委員：女性が少ないように思うのですが。商工会議所から2名、国際交流協会も考えられるが。

委員長：学生等と書いてあるところは、商船の国際流通学科の学生はほとんどが女子です。予想としてはどうですか。男性が多くなるのですか。

委員：女性を入れてもらえばいいのでは。推薦の中で。

委員長：どうしても少なくなる可能性はありますね。半々が一番いいですけどね。組織が推薦するときですね。今出ているのは、外国語表記については商船と国際交流協会を入れるということと、それから観光協会、それから男女の推薦するときの割合に配慮するという。それは問題ないですね。

それと、戦略会議委員のほうで、こちらから2名ということで、私がやるという方は会議が終わってから言っていただいても構いません。いろいろなものがどんどん出てくると思うので、あまり一人に負担が集中しないようにいきたいと思いますので。

それでは、資料1についての意見交換はこれくらいでよろしいですか。ここから委員を2名出す件については、終わりのほうでまた話しましょう。

次に、2番目のことで意見交換をしたいと思います。みなとまちづくりパンフレットについてであります。資料2を見ながらの説明になろうかと思います。それでは、よろしくお願いします。

事務局：資料1の内訳のほうに関しましては、先ほど観光協会の件も出ましたし、女性の登用の件も出ましたので、資料を一度精査して、皆さんにメールや郵送でお伺いをしたいと思います。よろしくお願いします。

それでは、資料2の説明をさせていただきます。みなとまちづくりパンフレットに掲載予定の項目についてでございます。本来はこの会議でデザイン案を皆様にお見せしたかったのですが、2回ほど案という形でいただきましたが、どうしても事務局として納得がいかなかったので、今は印刷会社でデザイン案を作っている段階です。それで、文書的にこういったものを出してあるかということを皆さんにご確認いただきたかったので、今回資料としてお出ししました。これ以外で港に関連して書く必要があるというもの、それとこちらは4か国語の表記をしようと思っておりますので、商船のほうへお願いしようと考えておりますので、よろしくお願いいたします。英語の部分については、国際交流協会へ確認いたしますが、その他の言語については商船のほうでお願いできないかと考えております。

それでは、順にこういったものを出したかというのを簡単にご説明したいと思います。

まず、施設等でございます。海竜町にあります海竜マリンパークです。そちらを1点目に出させていただきました。それと、みなとまちづくり方策のエリアには入っていないのですが、海老江の海水浴場を載せたいと、こちら海老江の自治会からも、みなとまちづくり方策のプレゼンに行ったときも、ぜひ施設紹介だけでもお願いできませんかということでありましたので、今回はそちらのほうも入れてございます。それと海老江の曳山まつり、こちらはイベントなんです、入れてございます。それと、片口にあります展望台と弁財天です。それと、臨港道路富山新港東西線、東西が結ばれるということで載せてございます。並行しまして県営フェリーも載せてございます。もちろん、みなとまちづくりパンフレットですので、真ん中の富山新港も載せており、富山新港を中心に絵を描きたいと思っております。続きまして、前後しますが、8番目は元気の森公園です。

それと、パンフレットの中身として市街地への誘導というものも載せていきたいと考えておりますので、こちら新湊地区の中心市街地にある内川、それにかかる橋を順に掲載させていただきました。また、海王町の海王丸パーク、海王バードパーク、みなと交流館に関しましては、もちろん載せてございます。あとは、新湊漁港、専念寺、八幡宮といった文化施設、あとは観光船のPR、イベントとして伝統のある曳山まつりを載せてございます。

2番目は中心市街地への移動手段です。先ほども申しましたが、パンフレットを海王丸パークでもらって、見て、中心市街地のほうへ足を向けたいくなるようなパンフレットにしたい、それと歩いてどれくらいかかるのか、分かるような感じのものにしたいということで、まず、歩いていこうということで、最寄の駅までの時間、それと万葉線の駅から、文化施設までの歩いた時間を掲載したいと考えています。それと、万葉線で駅まで行こうということで、海王丸駅から順に新湊庁舎前駅まで向かう時刻と料金の表記を掲載したいと思います。コミュニティバスについては、新湊・放生津線のみ海王丸パークに乗り入れていますので、そちらのほうの路線で、文化施設に向かうバス停を上げて説明してございます。

こちらのパンフレットにつきましては、3月末の完成にこだわらず、やはり持っていていただいてそれを活用していただく、見やすいものと考えておりますので、こちらデザイン案ができてきましたら、まず意見をいただいた商船のほうにお送りさせていただきますが、委員の皆さんに送らせていただいて、よろしければ印刷という方法をとりたいと思います。以上でございます。

委員長：ありがとうございました。なにか見落としているものはありませんか。

加えたほうがいいようなものも。気がついたことを出してください。

委員：万葉線の駅舎を入れてはどうか。駅を地図に落とす。できれば、駐車場みたいなものも。トイレも。

事務局：トイレは戦略会議で何度も意見が上がりましたので、入れていきます。

委員長：私はみんなをいつも漁民塚へお連れするのだが、それは地図に入っているのですか。

事務局：絵だけを入れたい。説明はなしにして。パンフレットは、地図を見ながらという形になります。

委員：文化会館は大きな駐車場があるから、文化会館が駐車場という捉え方もいいのでは。土日なら、新湊庁舎前も空いている。駐車場がないと言う話ばかりだが、結構ある。

課長：文中の内川の部分で、中世にはではなくて、中世からではないか。あと、新湊漁港と八幡宮までの距離はそんなに変わらないですか。それと、中心市街地の移動手段で、観光船はいりませんか。今、川の駅も作りますが、勤労青少年ホームも川の駅と言っていますし。あと、専念寺については、どうですか。

委員：あの松は、日本で3つほどしかない。あと、曳山の格納庫、休日に開いてくれている。総帆展帆の日あたり開いているから。それを載せるのもいいんじゃないか。長徳寺と南立町、東町も開いているかもしれない。

委員長：そういうのも、入れたほうがいい。

委員：毎年恒例のかにまつりを漁港のほうに、文で入れておけばどうか。

委員：本当は東橋周辺の桜並木も入れればいいんだけど、だいぶん弱ってきているから。水と近くてだめだ。根本的になにかしないと。

事務局：桜は部分的には、補強していきたいと思っております。

委員：パンフレットのデザインは、ほぼできているのですか。完成はいつ頃の予定ですか。

事務局：パンフレットの完成は4月中を予定しています。4月中に作りたくと。文面は、これを見ていただいて、直すところがあれば今の段階で直しますし、まったく別のいい文があるのでしたら、見せていただければと思います。ただ、今デザインをお見せできないので、皆さんもイメージしにくいと思うので、もう一度郵送等で必ずお示ししたいと思っています。

委員：この原稿の施設の順番は東のほうから書いてあるのですか。そうでもないのですか。

事務局：書いてある順番は、思いついたものから書いたもので、地図に番号を入れてその説明を下に入れていくような形にしたいので、そういったときは、番号が分かるように対比させます。地図では、海王丸パークから歩く時間が分かるようにしたいと思っています。

委員長：去年の海フェスタで作ったパンフレットは見ていますか。あれも結構落ちていたものを加えてありますので、参考になると思います。

事務局：北前船の関係で、今1件寄付していただくような話を少ししております。ただ、表玄関のほうが最近直されているので、それを修復していて間に合わなかったのです。

事務局：こちらはデザインをお送りするということによろしいですか。

委員長：一応、翻訳のほうの準備としては、ここに書いてあるので、とりあえず考えて。

委員：聞いたところでは、4月中ですよ。春休みがあるので、今度学生が集まってくるのは4月10日ごろで、それから授業でやるとなれば、4月中はきついかないと。

事務局　：表記の施設名のみもきついですが。

委員　：説明は考えていないのですか。学生にやらせるので、間違いないようにチェックをかける。学校ですから、教材ということで、地元に参加するということでやっていますので、タイトルだけであれば、4月の中旬、あたま2回くらいの授業でというふうに思っています。

委員長　：今、いろいろ出たものを事務局で加えていただくということで。万葉線の駅舎、駐車場やトイレとかいうものですね。ほかにもいろいろ出ておりますが、それらを加えたもので。また何か出てくれば、戻って話をしましょう。とりあえずは、この件はこういう具合で着々と進めるということです。あと、資料3は経過報告と書いてありますが、急きょ入れた私の提案を議論するというでいいですか。

私が急きょ提案というか、考えというか、私がやりたいんです。おかしなところはたたいていただいて。新湊の大橋の東と西を結ぶ歩道ですが、エレベーターとエレベータを結ぶ長さは480メートルです。それが、恐怖の480メートルになったらえらいことになるということを感じるんです。ということで、小泉所長さんや県のほうも、このことについては、工事段階からいろいろな工夫をして、解放的な形、例えば立山を見ることができる状態、海を見ることができる状態、海王丸を眺める、ようするに空中展望台のようなイメージで、それから空調も電気ですべてやるとえらいことになりますから、ランニングコストも高くなりますから開けられる状態にしたり、まだまだ大きな問題はあるようなんですが、いずれにしても400メートル以上の空間が、24時間通ることのできる空間ができるわけです。そうすると、そこの中でだしのところで非常に和む空間にしていかなないと、えらいことになるのではないかと考えてこう考えたんです。その空間を新湊大橋、環日本海空中画廊と銘打って、要するに子供とお年寄りにとってやさしい空間、雰囲気づくりを徹底的に心がける。そして、特色的には、このまちづくりに出ている海、港、船、環日本海、こういったものでやっていったらどうだろうか。このみなとまちづくり戦略会議の元に、やはりワーキンググループをつくって、日常的な活動ができないだろうかということを考えたんです。

どういう内容を考えてのかということですね、私の自慢の赤ちゃん写真展、私のおじいちゃんおばあちゃん絵画展、おじいちゃんやおばあちゃんが描いた絵でもいいし、おじいちゃんやおばあちゃんを描いた絵でもいいです。それから、日露、日中、日韓の小学生、幼稚園でもいいですが、その子供の絵を展示す

る。これは、両国の港に近いところの小学生、或いは3か国同じようにして描いてもらい、それにコメントも付けてもらう。コメントを付けてもらうんですが、むこうの言葉で書いてあるので、市民の手、学生の手を借りて、翻訳者の学生の名前も敬意を表して入れる。ということであります。当面、子供と年寄りに焦点を当てたテーマの写真だとか絵の展示を中心にいく。環日本海地域の特色を持たせて、国を超えて、みな人間家族の雰囲気、その赤ちゃんの絵だとかおじいちゃんおばあちゃんの絵、ということで、1か月に1回程度展示物が変わるようにしていけば、エレベーターから降りたすぐのところに何枚貼れるスペースがあるのか知りませんが、そういうことにすると、全国のいたずら書きというのが少ない商店街というのは、赤ちゃんの写真だとかお年寄りの写真だとかがあるところは避けるようです。そんなことで、そういった雰囲気が作ればいいかなと思います。内容はそういうことです。

実施の主体は、いろいろなことが考えられます。この戦略会議、それから、そのもとでもワーキンググループなんですが、そのもとで企画・実行組織を作っていく、そして主催していく。どういう組織があるのか抽象的にしか考えられないのですが、この射水市の退職小学校の先生の会があるのか分かりませんが、図画工作の関係のことが良く分かる人とのつながり、そこで実行組織を作ってもらっていいし、或いは、図画工作だけの先生のグループがあればまたいいと。それから、お年寄り関連のグループがあれば、そこで主催になっていただく。或いは婦人会、まちづくり戦略会議委員の各組織のところ等、いろいろ考えられると思います。そこでリーダーシップを発揮してもらって、一番いいのは10枚か20枚のものが1か月に1回くらいは展示が変わっていくようになるならば、1年に1回その組織がやるとしたら実行組織を10前後作っておけばいいのかなと。問題は、市内の人にやってもらうこと、或いは市内のお年寄りから絵を集めるというのも、日本語でいくからいいのですが、ロシア、韓国、中国の小学校とどうしていくかというのは、これは私もつながりがあるし、富山商船、新湊高校、県立大学、商工会議所、国際交流協会などに協力を願ってもいいと思います。更に、思い付きを書いているのですが、元気の森公園にパークゴルフをやりに来る人も非常に多い、そういうところに来る人に、そういう企画を投げかけてもいいし、或いは、港近くの老人ホームや病院に入っている方に、どんな絵でもいいということで、名前を出す出さないは自由にして、展示の場を広げていく。要するに、赤ちゃん、お年寄りといった弱い方というところを中心に盛り立てていく画廊にしたい。

呼びかけについては、そういう組織を通して、何枚集まるか分かりませんが、或いは市の広報、ケーブルテレビなんかで集めるのもいいかと。

実施方法等なんですが、私は今までいろいろやっているんですが、あらかじめ、賞状・賞金などで釣るということは、この際一切しない。もし、その必要があれば、その組織で、自分の絵を飾ってもらうから1000円出すだとか、逆に出していただく。展示料を出していただいて、展示をする。そしたら、事務局のほうにお金もプールできていくんじゃないかと。要するに独立採算でやる。ただし、行政的な対応として、最小限はやらなければならないこともあるだろうと。ハードの部分ですね。掲示板だとか。この掲示板にしても、ソフトとの関係も出てくるんで、それにふさわしい内容、ムードにしていく、飾りもある必要があるかもしれません。そういったものは、基本的には主催者がボランティアでやっていく。基本的には敬意を表して、やった人の名前を出す。要するに、参加意欲を高めるということです。ただ、海外の図画や写真の郵送料ぐらいは、自分で出せということは最初からいかないのではないかな。この際は、友好団体が行き来するとき、持ってきてもらうだとかというただの方法があります。更に、商船なんかでもよくやるんですが、船に行って船長にゆだねてウラジオストクへ持って行ってもらうだとか。或いは、パキスタンの自動車経営の外国人に自分の母校に、写真や子供の絵をお願いするだとか。こういうことをやると、パキスタン人の自分の子供だとか、出身の小学校の絵が飾られているということになると、多少ムードもいいのかなとも思います。その写真が壊れたり、絵が盗まれたりしたらどうするのかという問題がいつも出るんですが、これは、盗まれてもいい絵を出していただきたい。その実行部隊の組織のほうで考えていただく。例えば交替でそこにいてもいいし、要はガードマンを雇ってくれなくてはだめだとか、こういうことにはしたくない。こんなことをやっていたら、もたないだろうと思って、とにかく金をかけない、しかしムード作り、そして市民の手が我ら人間家族でつながるような、正に橋を、それが新湊大橋環日本海空中画廊の提案であります。

委員：いい提案だ。伏木富山港湾事務所にお聞きしますが、橋の下にこういった歩行者道がついているところは、どこかあるんですか。

伏木富山港湾事務所：長崎の女神大橋も確かそうですし、九州でもう一箇所どこかありました。あることはあります。

委員：どんなイメージになるのかと、できる前に一度見てみたいなど。

県港湾空港課：横浜ベイブリッジが確かそんなイメージかもしれませんね。

車道の下に人が歩いていて、入るとき確か有料だったと思います。有料であれば結構あります。斜張橋は下に結構あります。

委員：老人の絵は、老人クラブでちぎり絵などいろいろな活動をしていらっしゃるから、展示してもいいということであれば交代でされるんじゃないかと。今は、老人が生き生きといろいろな活動をしていらっしゃるから、この空間をお任せということでだしてもいいと思います。

委員長：そのような形で、特養に入ったり、家で介護されている人でも、やってみようかという気を外に出していくということはどうかと思って。

委員：この提案もいいし、もう一つ橋が結構動くと思う。ゆっくり揺れていると思うから、その揺れを見れるようにすればおもしろいのかなと。例えば、瀬戸大橋は、電車が通っていますが、電車が通過したら真ん中が結構1メートルくらい下がっている。それが分かったらおもしろいなど。

県港湾空港課：鋼線ですから歪むんです。歪むから壊れない。

委員：その歪みが分かればおもしろいなど。例えば、超高層ビルでは20センチか30センチか揺れているよという話をする。それが分かればなど。400メートルあるんだから、結構揺れるんじゃないかと。逆手にとって、それをどう表現すればいいかと。

委員長：いろいろおもしろいことを考えましょう。それでは、よろしいでしょうか。委員として、またワーキンググループの提案が出てこればですね、私が委員として実行したいなと思います。また、これは悪いことないんじゃないかということで、終えさせていただきます。その次に、経過報告と今後の日程についてです。

事務局：委員から提案をいただいているので、先にお願いします。

委員：合併してから地域審議会というものがあまして、新湊地域審議会は5月に市長に答申することになっているのですが、今総合計画が進んでいるので、早く出さなければいけないということで、地域審議会としては、この問題だけ早く総合計画に位置づけをしてほしいということで、オープンにしますと

いうことを了解を得た報告であります。

これは、1つは客船バースの前のほうで、マリンパークを作っていただきたい。これは、横浜でいえば山下公園みたいなもの、そんな感じでどうでしょうということです。それから、高周波の南側は遊歩道で海王丸パークまでずっといけるよと、道路があれば、海王丸パークの人たちが内川沿いに来れる。この2つについて、ぜひ位置づけをしてほしいということで、これは特に、小泉所長さんもいらっしゃいますが、港湾というのは必ず浚渫を伴う。その浚渫の土砂をこういうところに入れていただいて、それをどう市とタイアップしてやるかというところでなんとかしなければいけない。特に、高周波南側については工業用地と絡みますので、一概にすべて国だけではない。どこが事業主体となってどこがやるかといった話はこれからの話だと思いますが、一応こういうことで新湊地域審議会としては決定したということをお知らせしておきます。よろしくをお願いします。

部長：資料の赤の斜線部分については。

委員：これは、都市計画道路をこちらへふって、結局掘岡の臨港道路掘岡線みたいに、波返しがあったところに道路があつてすっきりなっている。このようにしてもらえないものかと。これは、どこでやるのか知らないが、都市計画道路の振り替えで措置していただきたいという要望です。赤く塗ってあるところは遊歩道です。道路と港のあわせに排水路になっているところがあつて、そのところですよ。一応こういうことです。

委員長：このマリンパーク①というのは、どのようなものを想定しているのですか。雰囲気は。

委員：今でいえば、客船バースの前ですから、いってみれば山下公園みたいな感じ。海を見てぼっとしていただけるところ。

委員：ちょっと教えてください。①のマリンパーク、今は下がっているでしょう。

委員：本当は前へ出したいのですが、そこまでしてしまうと港湾がどうなるのか分からないので。客船バースが短いと言われているので。だから、そういうこともあるので、ちょっと下がって控えめに書いたんです。私どもは、総合

計画で位置づければ、国と県でどうやっていただけるのか。

部長　：県のほうから、感想を一つ。

県港湾空港課　：これはあくまでも夢ということで。

委員　：夢です。

県港湾空港課　：夢を止めることはできません。ただ、事業ができるかできないかというのは別の話です。あくまでも、これは今そちらのほうで考えられた夢だと。夢をだめだということはいかないので。実現できるかどうかは今後の話でしょうし。

部長　：夢にも正夢というものがあるんです。

県港湾空港課　：たぶん、5年後にできるかといわれれば、それは難しいと思います。長い目で見ていくしかないのかなと思います。マリンパークについていえば、県では海岸環境整備事業ということで、海岸整備護岸という形で一旦整備をしてしまっているんです。その背後については、東西線が開通するまでには、ある程度のことは何かしないといけないのかなと県でも考えているんですが、前へ出すのは、今の時点ではちょっと難しいのかなと、正直な意見でございます。ただ、夢でございますので、最初からだめだということは全くありません。

伏木富山港湾事務所　：この内川遊歩道のアクセス、海王丸パークへの接続というのは、この実線が遊歩道になればということですか。要するに海岸沿いから新港大橋のところへ延び、接続していこうということですか。

委員　：斜線部分は波返しのところ、高周波の南側で、言ってみれば4メートルほどの歩道があればいいのかなという感じです。だから、私どもが思っているのは、逆に言えば高周波の工業用地としてもいいのでは。そのへんをどう自由にできるか。高周波に買っていただけるということであれば、そこで事業費がチャラになるんだから。という思いです。それと、これは富山新港だけの浚渫だけではなくて、射水平野でも排水路掘っていた泥が、持って行くところがなくて、莫大なお金をかけている。そういったところについても、こうした

埋立てというのは、今までは海に捨てていたが捨てられないので、そういうところで、うまくいかないかなと。一石二鳥みたいな話です。以上です。

委員長：こんなことも考えられているということで。

事務局：関連で、今日の北日本新聞の記事で、昨日、射水市の新年度予算の発表があつて、万葉線の延伸等の調査で予算がついたと、私どもが考えておりますのは、橋が完成した後は、万葉線が越ノ潟の渡船まで行っていますが、橋ができたあかつきには、エレベーター塔までのアクセスが、不便になるということで、とりあえず、コミュニティバスをあそこまでやるということになるのか分かりませんが、将来的には橋を利用する自転車なり歩行者の方が、例えば万葉線で高岡方面に行かれるということだと、現在の駅まで歩くという格好では正に不便ですので、万葉線も視野に入れて延伸するのにどういったルートが考えられるか、それに伴う環境整備ですね、今の方策では周辺にはポケットパークということで位置づけしてありますが、今ほど大代委員のほうから大胆な提案もございましたので、これにも絡むかなと。どういった理想的なものが描けるのか、理想的な絵を描きたいということで、新年度に予算を要望して付けていただいたわけでございます。それと、これは越ノ潟側だけではなくて、堀岡側のエレベーター塔のほうも関連しますので、地元のほうからは、現在堀切のままで放置してある護岸の整備、それとパラペットの撤去等の要望が出ておりまして、ここ数年同じ要望が出て進まない。それも少し理想的なものを描いて、国なり県のほうにもお願いしながら、市でどれだけできるか考える必要があるのではないかということで、これもたたき台というものの考え方で、それも含めた委託をしたいということでございます。以上です。

委員長：この万葉線の新聞記事は、このエレベーターのほうへのルート変更だけですか。それとも、海王丸のほうに入るようなものも含む調査ですか。

事務局：一応考えているのは、海王丸にも入れたいということで、それも概算の工事費も含めて、採算性といったものもありますので、そういったものも、本当の概算だとは思いますが、出したいと思っています。ルートとしては、2つ3つくらいが考えられるのかなと思っています。平成11年度に、旧新湊の時にそういった計画書ができていたのですが、その時の計画書は今使おうと思っても使えないような状況ですので、それを無にするのかは別の話として、新たに作りたいなと思っています。

委員長：今のこの2つのことで、何か質問はございませんか。

それでは、次のほうに入ります。経過報告並びに今後の日程についてであります。

事務局：最後の資料の説明をさせていただきます。今日の第6回目の会議で平成18年度の会議としては最後となります。それで、この方策が平成16年度になりますが、平成17年3月に策定されまして、それから平成17年度の会議から順に今日の会議までを簡単に振り返ってみたいと思います。それでは1つ目の会議の開催状況でございます。第1回の会議を平成17年9月26日（月）に中央公民館で開催しました。委員長選任、現況報告、それと観光船に乗った現地視察を行っております。射水市になってから、こちらみなとまちづくり班に事務局をおき、開催させていただいております。平成18年1月27日（金）に市民交流会館で、みなとまちづくり講演会と同時に第2回戦略会議を行っております。この時は、講演会には約70名、射水市職員も多数出席し、「臨港道路東西線とまちづくり」ということで、所長さんにご講演いただいたのはじめ、「新生射水市一ミナトからの活性化」ということで、長野先生にご講演いただきました。その後の戦略会議につきましては、射水市になったことによる所属の変更など、要綱の改正について審議いただいております。今年度に入りまして、6月7日（水）に通算して第3回目の会議を開催させていただきました。6月7日はこの場所で開催させていただきました。委嘱状の交付、第1段階【新湊大橋（仮称）の完成前】として掲載されている事業の確認と今後の取組方法、また、まちづくり交付金事業の概要についてご説明をさせていただきました。第4回の会議は8月31日（木）に国土交通省伏木富山港湾事務所新湊事務所のみなとふれあい館で開催させていただきました。第3回会議に引き続き、先導的及び比較的早急な対応が可能として位置付けられた事業への取組方法、それと、まちづくり交付金事業の変更の案をご説明させていただきました。第5回の会議は、昨年12月1日（金）に近畿大学水産研究所富山実験場の視察という形で開催させていただきました。こちらは、堀岡漁協の会議室で近畿大学水産研究所富山実験場と意見交換をさせていただきました。内容については、ホームページ等にも掲載させていただきましたが、バイオマス関連の意見交換が多かったかと思います。第6回会議は今日開催させていただいております。また、昨月の29日には、県民会館のほうで、伏木富山港湾事務所様との意見交換会を開催させていただいております。

次に広報事業でございます。射水市ホームページへ掲載しております。ホー

ムページで、新湊みなとまちづくり方策をダウンロードできるようにしておりますし、こちらの会議の会議録は無記名でございますが内容を確認できるようにしております。また、私どもみなとまちづくり班の事務局といたしましては、富山商船、奈古中学校、射水商工会議所、海老江西町老人クラブ等へ、みなとまちづくり方策のプレゼンテーションに出向いております。それと、昨年1月28日のみなとまちづくり講演会、そして第2回目として、平成18年1月29日（水）に第一イン新湊で射水のみなと講演会と題しまして、「魅力あるみなとまちづくりの景観」という題で、東海大学短期大学部の東先生、それと「競争から共進へ～国境を越える地域間経済関係の新展開」という題で、富山大学経済学部 of 李先生にご講演いただきました。こちらは、約200名の参加をいただきました。

それで、第1段階の各事業の動きでございます。これまで6回の会議を開催いたしまして、第1段階で各事業が動き始めておりますので、そちらのほうを簡単に紹介させていただきたいと思います。まず、第1段階で海王町ですが、こちら方策の前に始まっておりましたが、遊覧船という事業が民間により実施済でございます。新湊観光船株式会社が平成16年5月に会社を設立され運航されております。また、情報提供施設ということで、みなと交流館もその一つに挙げられるかと思っております。こちら国土交通省様のほうで建てられまして、現在は休館中でございますが、3月には開館されるということでございます。続きまして、海竜町でございます。元気の森公園が富山県のほうで平成17年11月に一部使用を開始されました。また、バイオマスの利用・研究ということで、近畿大学水産研究所と協議に入っておりますといたいところですが、話し合いの場を持つことができたということでございます。また、眺望機能として元気の森公園に整備されております。続きまして、市街地でございます。市街地は、内川の景観整備、こちらのほうはまちづくり交付金事業で現在対応しているところでございます。また、観光モデルコースとして、新湊TMOで平成17年度に策定されまして、皆様方にも何度かお配りしてございます。また、川の駅も現在計画中でございます。次に全域でございます。全域といたしましては、先ほどもご説明いたしましたが、市内への誘導の案内板の整備を来年度から始めていきたい、調査していきたいと考えております。また、先ほど滝本のほうからご説明させていただきましたが、万葉線の延伸調査ということで、こちら第1段階の事業として動き始めました。それで、今後の予定でございますが、通算して第7回目の会議は4月中に開催したいと考えております。こちら資料1の説明でも申しましたとおり、ワーキング会議の設置ということで、委員の推薦を承り組織立てを行いたいと思っておりますし、委員の皆様方には、

委嘱の期間が1年となっており、3月31日までとなっておりますが、今後も引き続き継続して委員のほうを引き受けていただきますよう、この場をお借りしましてお願いしたいと思っております。

委員長：実質ですね、1月末から始まったわけなので、ちょうど1年が過ぎたわけです。振り返って、この戦略会議自体、やるからこの時間しょうがなく来ようかというのを少しでも無くすために、これから1年を振り返って、こういうことはよかったと、新年度は考えたらどうかとか、意見を出していただければ充実していくのではないかなと思うんですが。何かございませんか。戦略会議として、こんなことも取り上げて議論したらいいというようなものも含めて、何かあればざっくばらんに出してください。私自身は、1年間振り返って遊覧船の体験もしたんですが、この時、私たちがただ乗って考えたというのものもあるんですが、近畿大学水産研究所を視察したときのように、ああいった話し合いがあればもっといいなと思いました。例えば、遊覧船の社長さんを囲んで、大変な事業だと思うんですから、悩みだとかを伺って。そういったものも入れれば、もっと充実したかな。そういう意見をいろいろ聞くというのも。それと、みなとまちづくり講演会でふと思ったんですが、東さんが景観のことを言われましたね。色の問題を。この色の問題もここで議論してもいいのではと思うんです。新湊にどんどん賑わいがやってくるということは建物もできるだろうし、いろいろな人がいろいろな建物を造っていくんですが、一律にこの色にしなければということではなく、できたらこんなふうなのがカッコいいだとか、ここに合っているんじゃないかということぐらいは議論してもいいような感じはするんですけどね、これは長い時間かけないと、関係者に聞かないと分からないんですが、その二つです。いろんな人の話伺って、戦略に役立つようなものになりたい、この色の問題そのようなことを、私は1年振り返って充実するものと思いました。何か気づいたことはありませんか。

委員：難しい話かもしれませんが、今、色の話をされましたが、前に「暮らしを海と世界に結ぶみなとづくり女性ネットワーク」の時に、色の話もそうですが、海王丸を見たとき、高い建物ができた場合、視界が悪くなるので、建物の高さを制限されたらどうですかと、他県の方から意見をいただいたことがあります。せっかく、海からきれいな山が見える、橋もかかる時に、高いものがあるては、その上に上がらないと見えない。そうではなくて、下にいても見れるようにその高さを制限する。今現在、なんでここに建物があるのかと言われて、私たちは漠然と見ているので思わないけど、そういう意見がかなりあった

ので、気になりました。東先生には数年前にお話を聞かせてもらって、その時から景観についておっしゃっていたのですが、言ってらっしゃったのですが。

委員長：眺めとの関係ですね。今は新地にたくさん来ていただきたいと思うけど、いざ来すぎちゃったら景観がどこかにいってしまうという問題もありますね。

委員：なかなかこの会に参加できていないので、皆さんが聞いてこられた5分の1ほどで、いろいろな話を整理しきれていないのですが、今さっき見させてもらったこのパンフレットも4か国語対応になるみたいですが、やっぱり観光で来られる方は、中国の方、韓国の方が大半なので、ロシアに関してはお仕事で来られる方が大半だと思うので、やはり、まちに人を呼ぼうというときは、中国語と韓国語に力を入れられたほうがいいと思うので、もしこういう会議に中国の方や韓国の方に来ていただければいいのかなと。違う国の人からすれば、特別知りたくない情報がある場合もきっとあるので、日本にいるから分かっているから書かないけど、向こうの人は初めてなので知りたいかもしれない。

委員長：それは、今まで訪ねていってお話を伺う方法もあるし、呼んでやる場合もあって、いろいろおもしろいですね。実際このマップを作っても、4か国語でやって、そのまま訳して、何を意味しているのか分からない言葉もあって、向こうの人がぱっと見たら、惹きつけられるものも出てくるかもしれませんね。

委員：今、原さんもおっしゃいましたが、仏壇と神棚がどの家にもありますが、韓国の学生がホームステイしていた時に、お母さんはどっちの神様を信じるんだい。日本は変なところだと質問を受けて、なんと答えればいいのかによって、仏様は悲しい時、神様はうれしい時とごまかしていましたけど、本当に国が違ったら考え方も違いますし、原さんがおっしゃったように、聞いてみてもと思います。

委員：中国語と韓国語はありますが、実際射水市と高岡市に多いのはブラジル人の方なんですけど、ブラジル人の方は、話せても平仮名も読めないという人がたくさんいらっしゃるの、実際生活していらっしゃる方も、たくさんここにいることを考えたら、ポルトガル語という案があってもよかったのかなと思いました。人数的にいうと、多いので。実際、彼らは仕事ばかりしていて新湊

地区におもしろいところがあるということを知らないと思うので。そういうのが、自分の国の言葉で出ていれば、いいんじゃないかなと思いました。

委員長：そうですね。人の状況からいくと、ブラジル人、フィリピン人、そして中国人と、全国大体そんな順序で。一応、ここで取り上げた4か国語というのは、限定しちゃったのは今後広がっていてもいいと思うんですが、国際化といっても港との関係で取り上げているので、環日本海というものを一つのキーワードにしている関係で、このみなとまちづくりのカラーとしては、ブラジルとフィリピンというわけにはいかない。そんなこともあって、要望が強かったらまたあるということで、とりあえずそんなふうには、決める段階ではそうなんですね。必要度からいけば、いろいろあると思いますが。また、そう人にいろいろ話を聞くということも、パキスタンの中古車の人のお話を富山商船の岡本先生がよくヒアリングをされていて、大変面白いです。彼らは彼らでもものすごく気を使っているんですね。でも、分からないわけですよ、誰も教えないから。もう、本当にどこでスリッパに履き替えたらいいいのかわけがわからないと。ある家に行ったら裸足で入るし、靴で入る家もあるし、ようするにわけが分からないわけです。いろいろなところで広げていければ。

委員：今回初めてなものですから、ただ、聞かせていただければですね、今日は青年会議所という立場ですが、自分が建設業をやっているもので、いろいろな考え方があるんだなどは聞かせていただきました。また今後、パンフレットや看板などがありますので、しっかりいろいろ考えさせていただいて、参加させていただきたいと思います。

委員長：よろしくお願いします。どんどん意見ををお願いします。

委員：今日で2回目なんですが、このまちづくり戦略会議は、このまちづくり方策をいかに実現していくか、そのためにはどうすればいいかという会議だと思って実は来たんですね。実はそうなんだと思いますが、大橋が、この新聞の記事にもありますが、平成24年頃の完成を目指しているという記事があります。24年といえば、4～5年しかないわけですね。その中で、この中の実際は両埋立地、海王町、海竜町の開発をどうするか、それを実現するためにどうするかということを議論する場だと今でも思っています。これからもそうありたいと思っています。今日もせっかく提案をされていますが、なかなか難しいということで、現実ハードルが高い部分がたくさんあると思います。ただ、

私は内川の周辺、市街地は一步一步整備がされていると思いますけれども、海王町、海竜町については、この計画の中でも、できるものはハード面で例えば緑地、そういったものは行政が主導となってできるものですので、そういう受け入れ態勢を始めて行ってほしいなと思うんです。この間の交付金もありましたが、ああいったものを使って、活用して、この提案されているのは、新たに埋立てるということで、なかなか難しいということだったんですかね。

委員：それは必ずしも戦略会議と合致しているのではなくて、総合計画に載るよということで、そんな話もあるよということです。

委員：ただ、この提案はこの地域をどういうふうに活用してどう発展させるか、どう振興させるかということの一環だと思うんです。だから、共通はしていると思うんですね。そういうことで、新たに埋立てることが難しいということであれば、計画の中に緑地計画は何箇所もあるんですね。ですから、そういったところからですね、進めていただければ、橋が完成に近づくにつれ、環境も整ってくるのかと思っていますが、これも難しいのかと思いますが、そう思っています。

委員長：ありがとうございました。今言われたような角度で、次にその議論の場で、東西埋立地の進出していないところで緑地はあるんですね。それをどういうふうに活用したらいいのかという議論も早く入らないといけないと思うんですね。一応、そこの方策に書いてあるのは、こういったものもいいんじゃないかといったようなものをしてあるわけですから、今のお話から取り上げて議論をしようと、こういうふうにしたらいんじゃないかといった提案もお願いします。私はその中で早く議論したほうがいいと思うのは、長い時間をかけてやらないと思うのは、環日本海というのをキーワードにしているのであれば、富山県内にいるロシア、中国、韓国からの留学生なり来ている人が、活動しやすい場をどのように作るかということで、知恵を出さないとまずいなと思っているんです。また、そういうのを、いずれ議論していけばいいと思うんですが。今まで、この1年間を振り返ってみると、案内板だとかやらなければならないことができていなかったということで意見を出し合っていましたので。また、やりましょう。

委員：これはあまり関係ないんですが、この前、総合計画の部会に出ていて、富山新港の工業用地がない。それを、総合計画の中で位置づけをしなかったら、

東海北陸道ができたときに、トヨタが2ヘクタールをくださいよといっても、どこにもないんです。そういったところに位置づけもしておかなくてははいけない。現実問題、総合計画の中で色付けをしておかないと、受け皿もないよということ。私はいろいろな面で、港に関しては当面の問題から先の問題までたくさんあると思っている。そこらへんは網羅なく、全部うめとかなないとだめになっていくという思いでいます。

委員長：ありがとうございました。

委員：皆さんと一生懸命話し合ったものが確実に一步一步進んでいってほしいなと。皆さんにこのパンフレットでも、早く作っていただいて、皆さんにお配りして、戦略会議ではこういうことをしていますよと、皆さんも協力してくださいといったように、市民の協力も取り付けていったほうがいいかなと思います。

委員長：少しでも横に広げるということで、ワーキング会議など、どんどんやっていきましょう。最初出したワーキング会議の件で、戦略会議から2名ということで希望者は入っていただけますか。ここで出しておいたほうがいいんでしょう。空中画廊のワーキングについては、また提案をします。一通り、議事が終わったのですが、いつも最後にアドバイザーで来られている方からお話を伺っているんですが、何か感想なり、国土交通省からお願いします。

伏木富山港湾事務所：臨港道路東西線のほうも順調に工事が進んでおりまして、いよいよ斜張橋の真ん中の部分の下部のほうが、昨年末発注して、今、工場のほうで柱になる部分を造っていきまして、来年の春から夏ぐらいにかけて、主塔を現地で建てる予定になっております。非常に順調に進んでおります。あとは工事が順調に進んできておりますので、先ほどあったような、自転車歩行者道路がありますが、そこと周りの道路をどうつなぐのかといったことや、事業評価委員会の中でも、自転車歩行者道路が400メートルもある中で、不安は大丈夫なのかという指摘も出ていましたので、ソフト面からも、完成後も含めた周辺とかソフト面が重要になってくると思うので、ますます、こういったみなとまちづくりの方々と協力していければと思っております。1月の意見交換会で申し上げましたが、港湾の事業でも、みなと振興交付金という交付金制度もできましたので、これも活用して、先ほど言ったポケットパークだとか、万葉線の延伸だとか、そういったものにも交付金が活用できるかもしれません。

ので、お互いに知恵と工夫だと思いますので、ぜひ、こういうところで勉強していきたいと思います。もう一つ、みなとまちづくりに関しては、みなとオアシスという制度もできまして、海王丸パークも申請されているとお聞きしていますので、それとも連携していければと思っております。今後、こういう活動をされるに当たっては、前回もいいましたが、こういういい戦略会議をやっておりますので、今度は会議だけではなくて、ぜひできれば実行部隊的な組織にしていければ、NPO みたいに発展していけばいいなと思っておりますので、影ながら皆さんを応援していければと思っております。以上です。

委員長：それでは、県の港湾空港課からお願いします。

県港湾空港課：国・県は皆様方が活動される基盤作りをやっていると思っております。皆様方におかれては、私どもが作った基盤を使って、いかに射水市ににぎわいを作り出すかということでこの会議があると思っております。私どもは、当初の皆様方とのパートナーシップを持ちながら進めていければ、この会議もすばらしいものになるのかなと思っております。一方的にこういうものができたから、国でやれ県でやれということではなくて、皆様方と一緒に考えて、その中で市、国、県の3者と、そして地元の方も含めて、より良い射水市になっていければなと思います。県のほうもまたがんばりますので、ご協力方よろしくをお願いします。

委員長：ありがとうございます。これで一通り議事は終わりにになりました。その他のほうで、シンポジウムの案内をお願いします。

県港湾空港課：3月10日の土曜日に金沢市の石川県女性センターで、物流がテーマなのですが、世界に拓いて飛躍する北陸地域のあり方についてというシンポジウムを開催しますので、ぜひご参加いただければと思います。内容については1部と2部がありまして、1部は戦略チームを立ち上げていますが、その中間報告をしまして、第2部として、パネルディスカッションとして、ゲストが書いてありますが、この方たちをお呼びしてパネルディスカッションを開催していきたいと思っております。以上です。

委員長：ほかにその他でなにかありますか。それでは、以上で今日の会合を閉じたいと思います。今日出た意見は、こういったことをすればいいのではという希望等も踏まえて、ぜひ有意義な時間になるように私のほうも努力いたし

ますので、積極的なご参加、意見発表をお願いいたします。また、ここで出たものが全部ここで消化できるわけがありません。みなとまちづくりの会合ですので、だけど、事務局も聞いておりますので、いろいろなことを話し合って、有意義な時間にしていきたいと思います。今日はありがとうございました。